

# 令和4年度 年間保育目標

子ども達の豊かな心や優しい心は、私たち大人の豊かな心と保育への情熱によって健やかに育ちます。そのためには、保育者自らが自然の価値、自然と人間との関わりやすべての生命の貴さについて愛情を持って考えることが大切であり、樹木や草花、鳥や虫たちをひとつの貴い生命体として捉え、慈しみ、いたわりの気持ち、世話する気持ちを持ち続け、行動しなければなりません。そして、その思いを子ども達と共感し、いかにわかりやすく伝えられるかが、私たちに問われています。幼児ひとり一人の心情と発達との度合いを的確に捉え、つまずきや困り感を持つ子どもへの細やかな配慮を行うとともに、コロナ禍の中、大切な学びの機会を失うことのないよう教育・保育活動にも工夫を凝らしながら、将来の社会生活に必要な「生きる力」の基礎が身につくよう、子ども達を育てましょう。

教育目標																
心豊かに、心優しく、そして、たくましく																
年間教育目標																
○豊かな創造力と表現力 ○たくましいからだと強い心 ○自然や他の生物の命の貴さを ○人とかがわる力を ○音楽の楽しさと確かな音感を ○文字と正しい数量概念を ○友だちを思いいたわる豊かな心を																
領域	内容	年少 目標			年中 目標			年長 目標								
		1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期						
健康	体育あそび	*いろいろな遊びや運動を通して、先生や友達との触れ合いを楽しみ、積極的に活動する中で、生活に必要な安全知識や態度を身につける。*体育遊びやスイミングに積極的に取り組み、基本的な体力を身に付け、健康な心身を育てる。														
		ボール				両手オーバースロー目標物に向かって投げる	片手オーバースロー	片手オーバースロー受け方・中当てゲーム			両手・片手オーバースロー・投げ方・目標に向かって投げる					
		鉄棒	ぶら下がり・つばめ・布団干し・足抜き回り(補助)	ぶら下がり・つばめ・布団干し・足抜き回り(補助)	足抜きまわり(補助)・前回り(補助)	ツバメの復習・足抜き回り・尻上がり・前回り(補助)			前回り・逆上がり(導入)	前回り・補助あり逆上がり	補助あり逆上がり					
		マット	動物歩き・サツマイモ・ゆりかご(導入)	動物歩き・ゆりかご・前転(補助)	動物歩き・ゆりかご・前転(補助)	ゆりかご・前転(補助)・まるむし		ゆりかご・前転(補助)・後転(導入)	前転・まるむし・後転(補助)		前転・後転(補助)・体幹を鍛える	後転(補助)				
	縄跳び				両足跳び・両手回し・前跳び	両足跳び・両手回し・前跳び	両手回し・前跳び(ゆっくり)・大縄跳び		前跳び・後ろ跳び・大縄跳び		前跳び・後ろ跳び・大縄跳び					
	音楽体育	*音体指導や瞑想を通して自分で考えて行動する力を身につけるとともに集中力を養う。・体育遊びにおいては、テーマごとに学年の目標を掲げるとともに、保育者自身が指導技術をしっかりと身につけて保育を実践する。*音楽を楽しみながらマーチングの練習に取り組み、見通しをもって最後までやり遂げる力を養う。(年長)・足踏み、方向変換、前進の基本動作について知り、細かいポイントを意識しながら、自分で考えて行動する力を養う。(年中)・基本的な動作(前ならえ・休め・きをつけ)の仕方を身に付け、左右前後を意識づける。(年少)														
基本的生活習慣	*朝の挨拶・棚りの挨拶を自ら進んで出来るようにする。・トイレのスリッパ並べを徹底して行えるようにする。・排泄や着替え、持ち物の整理整頓など身の回りのことを自分の力で出来るようにする。*視覚支援教材を活用(年少特化)				*衛生検査を日常生活の中で取り入れ、その必要性を保護者にもしっかりと伝え理解してもらう。また、その実践は保護者の責務であり、愛情であることを感じ取ってもらう。・便をした際の拭き取り等、自立に向け自分のことは自分で行う。率先して清掃や片付けに取り組み、様々なルールを守って行動をする。(年中)自ら時間を意識し、行動する。(年長)											
食育	食に興味を持ち、様々な食材を味わう。好き嫌い・偏食をなくす。スプーンとフォークの正しい使い方を知る。お箸の使い方を知り、慣れ親しむ。食事のマナーを意識する。				好き嫌い、偏食をなくす。食べ物の栄養素について興味を持つ。よく噛みながら味わって食べる。食事のマナー(箸の持ち方・姿勢・食べ方)を意識して守る。				偏食、好き嫌いをなくす。食事のマナーを守りながら食べる。時間内に完食出来るようにする。個人目標をもつ。							
人間関係	*楽しい遊びを自発的に考え、集団遊びの中で人との関わりを深めていく。*子ども同士のやりとりや葛藤を通して友達を思い、いたわりの心を育む。*社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。*わらべ歌、伝承遊びを通して友達と楽しく遊ぶ。															
	関わる力	・幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。			・友達との関わりを深め、思いやりの気持ちを持つ。			・自ら、物事の善し悪しを判断し自発的に行動する。・問題を解決する力を身に付ける。								
		・好きな遊びを見つけ楽しむ。遊びを通して沢山の友達と関わる。			・集団遊びを通して、ルールを守りながら友達と遊ぶ。			・自分の気持ちを伝える大切さや、相手の気持ちに気づき思いやりの気持ちを育む。								
・物事の判断を子ども達に促し、考え、自発的に行動しようとする意欲や態度を育てる。・子ども達の行動の要因や、心の成長を的確に把握し、保護者との連携に努めると共に保護者同士の良好な人間関係が育めるよう、援助する。子ども同士が関わりを深められるような保育・環境作りに努める。*他者と関わる際に相手の表情から気持ちを考えられるよう、気持ちカードを使用して様々な感情を知る習慣を身に付ける。(年中)グループ活動の中で協力する大切さを知る。(年長)																
環境	*菜園活動や四季折々の自然と触れ合う中で、季節を感じる心や、動植物を愛護する気持ちを持ち、全ての生物が持つ「生命力の強さ」、「生命の不思議さ」「命の尊さ」に気付く。*身近な社会事象に興味や関心を持ち、生活に取り入れようとする積極性を養う。物の性質や数量、文字などに対する興味や関心を持つ。															
	自然	・小さな種から野菜や草花、生物を育てるといった直接体験を通して生きものへの興味を持つ。その中で、心の豊かさや優しさ、思いやりの気持ちを持つ。						・園内にある果樹の生長を観察し、収穫する喜びを味わう。			・草花栽培を通して、生物を愛護する気持ちを持つ。			・園内にある果実の観察を通して、収穫をする喜びを味わい植物に対する愛情を持つ。		
		朝顔	チューリップ・ヒヤシンス			ミニヒマワリ			チューリップ			カザニア			チューリップ	
	命	・保育者自らが豊かな感性をもち、子ども達と共に小さな種から野菜や草花、生物を育てるといった直接体験を通して、生きものへの興味や関心を育み、生命力やその大切さに気付く。														
・心の豊かさや優しさ、思いやりの心を育てる。その為に「生命」を感じることで出来る環境を保育者自身が積極的に整える。・公私物を問わず、ものの大切さを理解させる。・自分の持ち物の管理や整理・整頓を自主的に行い、自分の生活環境に配慮しながら自ら判断し、行動する力を養う。・瞑想や基本的生活習慣の繰り返し(反復)により、落ち着いて話を聞く姿勢を養い、集中力を身につける。*保育室の清掃を進んでしようとする気持ちを養う。(年長)・絵本棚の整理をする。(年長)																
言葉	*いろいろな感動体験を通して、感じたことや考えたことを自分なりの言葉を使って表現する。*人の話を聞こうとする態度や意欲を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。*日常生活に必要な言葉の意味を理解できるようにする。*童話の読み聞かせを通して絵本や物語に親しみ、イメージを膨らませることにより、創造力や情操を豊かにする。*自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。*人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。*教材を通して平仮名や数字に興味を持ち、取り組む。(年長)															
	絵本	・日常生活に必要な語彙を身につけると共に、絵本や物語などに親しみ、保育者や友達と心を通わせる。														
		・様々な絵本に親しみ新しい言葉を習得する。・絵本や物語を通して想像する楽しさを味わい感性を磨く。*絵本を通して、想像力を豊かにする。(年長)・作者が何を伝えたいのかその主旨を捉え、保育者(読み手)自身が子どもたちにわかりやすく伝えられるよう読み方や伝え方を工夫する。														
	ENGLISH	・英語遊びを通して、異文化に触れる。・様々な英単語を知る。(数・動作・食べ物など)・簡単な英語の歌をうたう。						・日頃より簡単な単語をつかって、会話、コミュニケーションを楽しむ。・簡単な英語の歌をうたう。								
言葉遣い	保育者自らが模範となれるよう、正しい言葉遣い美しい言葉遣いを日々心掛ける。															
表現	*感じたことや考えたことを自分なりに表現することで、豊かな感性や表現力を養い、創造性を豊かにする。*いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。*生活の中でイメージを豊かにし、感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。															
	絵画・造形	・描いたり作ったりすることの楽しさを味わう中で、自己表現力を身に付ける。・画材・画法やテーマを考慮する。こどもの豊かな発想を引き出し、自己表現を楽しめるよう工夫する。*様々な道具を使用して教材に取り組み、表現する楽しさを味わう。(年中)・正しい使い方や持ち方を身に付け、表現する楽しさや自己表現を学ぶ。(ハサミ、のり、クーピー、クレヨン、絵の具)(年少)														
	備考	発達に応じて画材・画法やテーマを工夫し、豊かな発想を引き出すとともに、自己表現を楽しめるよう工夫する。														
	歌唱	・季節に応じた沢山の曲に親しむ。保育者自身における音楽技術の向上にも努める。・歌詞の意味を理解しながら楽しんで歌う。(毎月の歌)														
		・簡単な曲を楽しみながら歌う。Englishソングにも親しむ。			・正しい発声法を知る。(よい姿勢・よい呼吸・よい発音)			・正しい発声法を意識しながら歌う。音程に合わせて歌う。音を意識する。								
身体表現	・自分のイメージを身体や言葉などで表現し、演じる楽しさを味わう。1年を通して劇で演じる物語に親しみを持つ。															
器楽演奏	・小楽器の名前や使い方、約束事を知り、音を奏でる楽しさを味わう。・音楽に合わせて様々なリズム打ちに取り組む。				・楽器の使い方を知り、友達と音楽を奏でる楽しさを知る。・左右の叩く手順を知り、様々なリズム打ちに取り組む。				・自分に自信を持ち、曲想、曲の強弱を意識しながら楽器を奏でる。							

# 令和4年度 0歳児年間指導計画

ねらい・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定の保育者に気持ちや生理的欲求を満たしてもらい、信頼関係、仲間意識の基礎を築いていく。</li> <li>安全で快適な環境の中で一人ひとりが生活リズムに慣れ、安心感を持って過ごす。</li> <li>様々な遊びや活動を通して、身の回りに対する興味や好奇心の芽生えを育む。</li> <li>子どもの感情や喃語に伝えてもらったり、語りかけられたりすることで発語の意欲を育む。</li> </ul>			
期	1期（4月～5月）	2期（6月～8月）	3期（9月～12月）	4期（1月～3月）
<b>養護・教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）</b> <b>期のねらい・内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい環境で不安にならないように特定の保育者がかかわり、安心して過ごせるようにする。</li> <li>季節に合わせた環境を整え、快適に過ごせるようにする。</li> <li>安心できる保育者等に食べさせてもらいながら、様々な食材の味に慣れていく。</li> <li>食べさせてもらったり、手掴みしたりして、食事をしようとする。</li> <li>「おいしいね」「もぐもぐ、かみかみしようね」などと言葉を掛けてもらいながら、しっかり噛んで食べる。</li> <li>オムツ交換は易しく言葉掛けをしてもらい、気持ち良さを感じられるようにする。</li> <li>保育者に傍についてもらいながら安心して眠る。</li> <li>保育者に介助されながら、嫌がらずに衣服の着脱をする。</li> <li>一人ひとりの発達の状態に合わせて、全身運動（マット・トンネル）や探索遊びを楽しむ。</li> <li>つかまり立ちや歩行が出来るよう環境を整え、探索を楽しむ。</li> <li>ふれあい遊びやあやし遊びを楽しむ。</li> <li>音を聞く、物を見る、握る、掴むなどの動きにつながる遊びを十分楽しむ。</li> <li>安心する保育者に抱いてもらったり、語りかけられたりする中で安定した気持ちと喜びを味わう。</li> <li>春の自然に触れて楽しむ。（花・虫など）</li> <li>保育者の関わりや語り掛けで喃語や片言を話そうとし、その喃語や指差しを受け止めてもらう。</li> <li>季節のうたや手遊びを喜んで聴こうとする。</li> <li>童謡やリズムミカルな音楽を聴いて、体を揺らすなどして楽しむ。</li> <li>泣く・笑う・怒るなど気持ちを代弁してもらう。</li> <li>介助されながら顔を拭いたり、手を洗ったりして気持ちよさを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タオルや沐浴などで汗を拭き、清潔を保つとともに気持ち良さを感じ、快適に過ごせるようにする。</li> <li>介助されながら、スプーンを上手で持ったり、手づかみをしたりしてこぼしながらも自分で食べようとする。</li> <li>食べ物の好き嫌いが出てくるが促されながら、苦手な食材も食べようとする。</li> <li>「おいしいね」などと言葉を掛けてもらい、友達や保育者と食事をすることを楽しむ。</li> <li>快適な環境の中で一定時間安心して眠る。</li> <li>服やズボンを手助けしてもらいながら、脱ごうとする。</li> <li>身体を十分に動かして遊ぶことを楽しむ。（登る・降りる・くぐるなど）</li> <li>動く玩具や手指を使って押ししたり、引っ張ったり、たたいたりして楽しみながら遊ぶ。</li> <li>水遊びや沐浴をして汗を流し、さっぱりした気持ちを味わう。</li> <li>保育者と一緒に遊ぶことを楽しみ安心感を持つ。</li> <li>砂や水などの様々な感触に興味を持ち、触ろうとする。</li> <li>保育者に動物や食べ物・乗り物が出てくる絵本を読んでもらうことを喜ぶ。</li> <li>季節のうたや手遊びを楽しむ。</li> <li>音楽を聴いて身体を動かしたり、手作り楽器などを使ったりして音遊びを楽しむ。</li> <li>保育者や友達と一緒に模倣遊びを楽しむ。</li> <li>様々な素材を使った感触遊びに参加する。</li> <li>自分でコップを持ったり、手を添えてもらったりしながらお茶などを飲もうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの健康状態を保育者間で把握し、冬の感染症の早期発見につながるよう、また、安心して過ごせるようにする。</li> <li>自分から進んで食事をしようとし、時には手づかみで食べようとする。</li> <li>こぼしながらもスプーンを上手で持って食べようとする。</li> <li>歩行が安定した子どもからオマルに座り慣れていく。</li> <li>排泄したことを態度や言葉で知らせようとする。</li> <li>自分の布団がわかり、自ら布団に入って、一定時間安心して眠る。</li> <li>自分で紙パンツやズボンを脱ごうとする。</li> <li>身体を十分に動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>安全面に配慮しながら、遊具を使って身体を動かすことを楽しむ。（マット・すべり台など）。</li> <li>指先を使った遊びを楽しむ。</li> <li>様々な廃材や絵の具に触れ、感触を楽しむ。</li> <li>保育者に見守られながら、一人遊びを十分に楽しむ。</li> <li>どんぐり、落ち葉など秋の自然に触れ興味を示す。</li> <li>繰り返しの言葉が出てくる絵本を読んでもらうことを喜ぶ。</li> <li>名前を呼ばれたら「はい。」と返事をしたり、手を上げたりする。</li> <li>様々な素材を使って感触遊びを楽しむ。（絵の具・片栗粉粘土など）</li> <li>クレパスを使ってなぐり描きを楽しむ。</li> <li>生活の中の様々な場面で喃語や発語を大切にしながら人や物への関心の芽生えを促す。</li> <li>絵本に出てくる食べ物や動物に興味を示したり指差しをしたりする。</li> <li>衣服の脱ぎ着の際、自ら手足を動かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>片言や、仕草で自分の気持ちを十分に受け止め、子ども達が安心して表現できるようにする。</li> <li>自分から進んで食事をしようとし、保育者に援助してもらいながらスプーンを下手で持って食べようとする。</li> <li>オマルや便座に興味を持ち、自らオマルに座って排泄しようとする。</li> <li>オマルでの排泄習慣を身に付け、排尿する感覚を味わう。</li> <li>午睡途中で起きた際は、再入眠したり静かに保育者と遊んだりして過ごす。</li> <li>自ら、紙パンツやズボンの着脱に取り組もうとする。</li> <li>運動遊びをしたり、遊具を使ったりして全身を使って遊ぶことを楽しむ。</li> <li>シール遊びや製作活動など、指先を使った活動を楽しむ。</li> <li>保育者や友達と一緒に遊びを楽しむ、関わり方を知る。</li> <li>異年齢児や保育者と遊ぶ中で、玩具の使い方を知る。</li> <li>保育者に見守られながら、好きな遊びを楽しむ。</li> <li>戸外での冬の自然に触れて遊ぶ。</li> <li>探索活動を通して様々な物や人に触れ、保育者とのやりとりを楽しむ。</li> <li>好きな絵本を読んでもらいたいことを片言で伝えるなど、保育者との簡単なやりとりを楽しむ。</li> <li>自分の思いを簡単な言葉や身振り、態度で伝えようとする。</li> <li>季節のうたや手遊びを喜んで聴き、体を揺らしたり、手を動かしたりして楽しむ。</li> <li>柔らかく暖かい布や毛糸に触って感触遊びを楽しむ。</li> <li>動きたい気持ちを受け止め、十分に身体を動かせるようにする。</li> <li>色々な遊びに興味を持ち、戸外遊びを楽しむ。</li> </ul>
<b>保育者などの関わりおよび環境</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>玩具の清潔・安全を心掛け、常に点検する。</li> <li>保育者は優しい声で語りかけ、正しい言葉遣いを心掛け気持ちを受け止め応答しながら発語の意欲を育めるようにする。</li> <li>温かい雰囲気の中で、ゆったりとした行動を心掛ける。</li> <li>一人ひとりの生活リズムを大切に、安心して眠れる環境を作る。</li> <li>一人ひとりとゆっくと触れ合い、要求を受け止め情緒の安定を図る。</li> <li>外気に触れる機会を作る。</li> <li>コロナ対策を含め、室温、温度管理の為、こまめに換気や消毒を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達の興味や発達に合わせて探索活動を助長し、おすわり、ハイハイ、つかまり立ち、伝い歩き、歩行など運動が十分出来るよう安全で活動しやすい環境を整える。</li> <li>食事では、一緒に口を動かして見せたり、こぼしたりしながらも自ら食べようとする気持ちを大切に、楽しく食べられるようにする。</li> <li>保育室や冷房器具などの掃除を細めにし、清潔を保ち、快適に過ごせるようにする。</li> <li>引っ張る、合わせる、たたくなどを楽しめるような玩具を用意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>暖房器具や加湿器などを使用し、安全な環境を整え、感染症予防にも努めながら快適に過ごせるようにする。</li> <li>排尿間隔を把握し、無理なくトイレに誘ってオマルに座るようにする。</li> <li>甘えや不安を受け止め情緒の安定を図る。</li> <li>自分でしたい気持ちを受け止め、満足感を得られるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>暖房器具や加湿器などを使用すると同時に、換気にも気を付けながら安全な環境の中で、快適に過ごせるようにする。</li> <li>子どもの健康状態を保育者間で把握し、冬の感染症の早期発見につながるようにし、安心して過ごせるようにする。</li> <li>自分でしたいという気持ちを汲み取りながら、満足感が得られるようにする。</li> <li>行動範囲が広がり、好奇心が旺盛になるので、危険な物や場所の点検をし、十分な探索活動を促す。</li> </ul>
<b>家庭との連携</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園での子どもの様子や家庭での様子を知らせ合い、園と家庭の連携を密にし信頼関係を築いていけるようにする。</li> <li>荷物の用意の仕方や園のきまりやルールなどを分かり易く伝え、理解や協力をしてもらう。</li> <li>離乳食の進み具合や移行について細めに聞き取り、進めていく。</li> <li>連絡ノートや園だよりなどで園での活動内容、連絡事項、クラスの様子を知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季保育の出席を確認し、通園状況を把握する。</li> <li>水遊びが始まる為、子どもの健康状態を把握し、準備物や内容を伝え、安心して参加出来るようにする。</li> <li>汗をかきやすい季節となる為、衣服を多めに用意してもらい、清潔を保つ。</li> <li>夏に多い感染症、脱水症状について知らせ、早期発見、早期治療に努めてもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年末年始の出席を確認し、通園状況を把握する。</li> <li>風邪やインフルエンザなど感染症の流行しやすい時期なので、体調の変化に気を付け、健康状態や生活リズムについて、細めに連絡を取り合う。</li> <li>寒暖の差がある為、調節や着脱しやすい衣服を用意、着用してもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1歳児クラスに進級することについて必要な物などを知らせていく。</li> <li>個々の成長した点や課題点について伝え、無理なく進級できるようにする。</li> <li>冬休み明けも安定して過ごせるよう、家庭での様子を窺い、生活リズムを整えていく。</li> <li>日々の発育を共に喜ぶ。</li> </ul>

# 令和4年度1歳児年間指導計画

ねらい・目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活リズムが安定し、一日の保育の流れに沿って食事を喜んで食べる。</li> <li>排泄や睡眠などの生活活動を保育者と一緒にする。</li> <li>身の回りのものに触れたり遊んだりして興味を持つ。</li> <li>安全で活動しやすい環境の中で、自分なりに歩行し、活動範囲を広げる。</li> <li>保育者と一緒に好きな遊びを見つけ、機嫌良く過ごす。</li> <li>見立て遊びを楽しむ。</li> <li>遊びを通して友達に関心を示し、一緒に遊ぶ楽しさを知る。</li> <li>自然物や身近な用具や玩具に興味を持ち、進んで触れたり試したりして遊ぶ。</li> <li>保育者と関わるなかで、様々な言葉を覚え、要求や自分の気持ちを簡単な言葉で伝えようとする。</li> </ul>			
期		1期（4月～5月）	2期（6月～8月）	3期（9月～12月）	4期（1月～3月）
ねらい・内容	<b>養護・教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>つたい歩きや一人歩きで動き回り、探索活動を楽しむ。</li> <li>保育者に愛着を持ち、安心して園生活を送る。</li> <li>新しい生活の場に慣れ、保育者に親しみを感じながら安心して自分の気持ちを表す。</li> <li>保育者に傍についてもらい、安心して眠る。</li> <li>名前を呼ばれたら、身振りや声で返事をする。</li> <li>保育者と一緒に遊んだり、見守られたりしながら一人遊びを楽しむ。</li> <li>身の回りのことに興味を持ち、見たり触ったりすることを楽しむ。</li> <li>絵本を見たり、お話を喜んで聞いたりする。</li> <li>様々な音や音楽を聞いて、身体を動かそうとする。</li> <li>排泄時間になると保育者の声掛けを聞いてトイレに行こうとする。</li> <li>保育者の援助や言葉掛けにより下の服の着脱に挑戦しようとする。</li> <li>スプーンやフォークを使って自分で食べようとする。</li> <li>自分のマークを認識し、エプロンや衣服を片付けようとする。</li> <li>保育者と一緒に手を洗い、手洗いの仕方を知る。</li> <li>手拭きタオルで、自分で手を拭き、きれいになることを喜ぶ。</li> <li>オマル・トイレに座る習慣を付けていく。</li> <li>こまめにオムツを替えてもらい、心地良さを感じる。</li> <li>自分の欲求を、表情や指さし、動作、一語文などで表す。</li> <li>自分の好きな遊びを見つけて存分に楽しむ。</li> <li>食前、食後の挨拶を動作や言葉で表す。</li> <li>決められた所へ物を入れたり、出したりする。</li> <li>保育者や友達と一緒に、安心感を持って避難（訓練）しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オムツが汚れたことを動作や言葉で表そうとする。</li> <li>身の回りのことに興味を持ち、保育者と一緒に取り組もうとする。</li> <li>生活の中にある物や絵本を通して、色に興味・関心を持つ。</li> <li>安全な環境の下で保育者と一緒に水遊びを楽しむ。</li> <li>天気の良い日には散歩に出掛けたり、園庭に出て身体を動かしたりして遊ぶ。（5・6月）</li> <li>一定時間の十分な睡眠をとる。</li> <li>様々な食材に慣れ、意欲的に食べようとする。</li> <li>介助してもらいながら、石けん液を使って手を洗う。</li> <li>顔を拭いてもらい、きれいになった心地良さを感じる。</li> <li>一日の生活の流れに慣れ、園の生活リズムを感じながら行動しようとする。</li> <li>自分のものと友達のものとの区別がつくようになる。</li> <li>保育者の援助や言葉掛けにより、上着の着脱に挑戦しようとする。</li> <li>食事に興味を持ちスプーンやフォークを使って最後まで自分で食べようとする。</li> <li>排泄の際、自らオマルに座ろうとする。</li> <li>トレーニングパンツを着用し、その使用、感触に慣れていく。</li> <li>曲に合わせて身体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>リズム遊びや体操など、身体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>一語文や二語文で自分の思いを相手に伝えようとする。</li> <li>「片付けようね」や「座りましょう」といった言葉による指示が分かり、自分から行動しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>靴や靴下を自分で履こうとする。</li> <li>保育者の言葉掛けにより簡単な衣服の着脱を自ら行う。</li> <li>下手持ちが定着し、安定してスプーンで食べる。</li> <li>意欲的にトイレに座り、オマルでの排尿感覚を味わう。</li> <li>好きな絵本を読んでもらうことを喜ぶ。</li> <li>保育者や友達と追いかけて遊ぶ。</li> <li>身の回りのことに進んで取り組む。</li> <li>十分な活動から、一定時間の睡眠をとり、機嫌良く目覚める。</li> <li>色々な物を使って、見立て遊びをする。</li> <li>天気の良い日には散歩に出掛けたり、園庭に出て身体を動かしたりして遊ぶ。（11・12月）</li> <li>保育者の援助や声掛けの中で安定して健康に過ごす。</li> <li>保育者や友達と簡単な言葉のやりとりを楽しむ。</li> <li>自分の思いを言葉や仕草で保育者に伝えようとする。</li> <li>楽器や廃材を使用して様々な音を楽しむ。</li> <li>絵画活動で、絵の具やクレパスで自由に表現することを楽しむ。</li> <li>様々なものになりきって身体を動かすことを楽しむ。</li> <li>戸外遊びや、散歩の後は保育者を真似て、うがいをしようとする。</li> <li>保育者と一緒に、手すりを持って階段を上ったり、降りたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症など、様々な病気の流行に備え、一人ひとりの健康状態に十分配慮されながら、快適に過ごす。</li> <li>保育者に見守られながら、自らトイレに行き、排泄をしようとする。</li> <li>尿意を感じたら、態度や言葉で伝えようとする。</li> <li>好きな歌をうたったり、リズム遊びを楽しんだりする。</li> <li>ままごとやごっこ遊び、見立てたりなりきったりする遊びに興味を持ち、言葉のやり取りを楽しむ。</li> <li>天気の良い日には散歩に出掛けたり、園庭に出て身体を動かしたりして遊ぶ。（2・3月）</li> <li>パンツを一人で脱ぎ着したり、服を自分で着ようとしたりする。</li> <li>自分で靴や靴下を履いたり、上着などを着たりしようとする。</li> <li>鼻水が出たら知らせ、拭いてもらったり自分で拭こうとしたりする。</li> <li>お皿に手を添え、食べこぼしのないよう食事をしようとする。</li> <li>苦手な物でも声掛けにより食べようとする。</li> <li>保育者や友達と一緒に楽しく食事をしようとする。</li> <li>遊びを通して友達との関わりを持つ。</li> <li>気温や天気を感じ、保育者や友達に寒さや天候を伝えたり、共感しようとしたりとする。</li> <li>保育者の仲立ちにより、物の貸し借りの仕方を知る。</li> <li>保育者に自分の思いを理解してもらい、気持ちの切り替えをスムーズに行えるようになる。</li> <li>言葉を覚え、生活や遊びの中で簡単な対話をしようとする。</li> <li>玩具の片付ける場所がわかり、自ら片付けようとする。</li> <li>保育者が仲立ちとなり、友達との関わりを楽しむ。</li> </ul>
	<b>環境構成</b> <b>および</b> <b>保育者等の関わり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者は年間を通して、丁寧な言葉遣いを心掛け、子ども達の正しく美しい言葉の発達を促す。</li> <li>コロナ対策を含め、室温・温度管理の為、こまめに換気や消毒を行う。</li> <li>新しい生活の場に慣れ、保育者に親しみ、安心して自分の気持ちを表すことが出来るよう関わる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の中にある物や絵本を通して、色や形に興味・関心を持てるよう声掛けをする。</li> <li>行動範囲が広がってくる為、一人一人の動きを把握して、好きな遊びが十分出来るよう環境づくりに配慮する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者の援助や声掛けの中で、安定して健康に過ごすことが出来るよう配慮する。</li> <li>子どもからの話を十分に受け止め、言葉で返し発語を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と関わりたい気持ちを受け止める。</li> <li>自分でやろうとする姿を見守り、一人ひとりの発達や気持ちに応じて援助する。</li> </ul>
<b>家庭との連携</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ感染防止の為、家庭でも手洗い・うがいを徹底して、行ってもらえるよう伝える。</li> <li>家庭での生活習慣や様子、健康状態、癖などをあらかじめ具体的に聞いておく。</li> <li>連絡帳や迎えの時間を利用して、一日の子どもの園での様子を伝え、安心感を持ってもらえるようにする。</li> <li>朝の準備や園の決まりやルールなどを、分かり易く伝え、理解、協力を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季保育期間の出席を確認し、通園状況を把握する。</li> <li>夏に多い感染症（とびひ、水ぼうそう）、脱水症状などについて知らせ、早期発見、早期治療に努めてもらう。</li> <li>水遊びが始まる為、準備物や内容を伝え、安心して参加できるようにする。</li> <li>着脱しやすい服や汗を吸いやすい服を多めに準備してもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年末年始の出席を確認し、通園状況を把握する。</li> <li>風邪やインフルエンザなど感染症の流行しやすい時期として、体調の変化に気を付け、健康状態や生活リズムについて、こまめに連絡を取り合う。</li> <li>寒暖の差が大きい為、調節や着脱のしやすい衣服を用意してもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の発育を共に喜ぶ。</li> <li>冬休み明けも安定して過ごせるよう家庭での様子を窺い、生活リズムを整えていく。</li> <li>進級に向けての不安や思いをくみ取ると同時に、丁寧な返答を心掛け、安心して進級を迎えてもらえるようにする。</li> </ul>	

# 令和4年度2歳児年間指導計画

ねらい・目標		<p>○一人ひとりが安心して園生活を送り、十分に自己発揮できるようにする。</p> <p>○保育者に見守られながら、簡単な身の回りのことを行い、自分でやってみようという気持ちを持つ。</p> <p>○いろいろな食べ物や料理を味わい、友達と一緒に食事を楽しむ。</p> <p>○遊具や運動用具を使い、十分に身体を動かしながら保育者や友達と様々な運動遊びを楽しむ。</p> <p>○友達と一緒に行動したり、同じ遊びを好んだりして、つもり遊びやごっこ遊びを楽しむ。</p> <p>○興味のあることを模倣したり、経験したことを言葉や動作で表現したりしようとする。</p> <p>○好きな歌をうたったり、好きなリズムに乗って身体を動かしたりする。</p> <p>○自然物やいろいろな素材を使うことに興味を持ち、出来た物に意味付けなどをして、物を作る楽しさを知る。</p>			
期		1期（4月～5月）	2期（6月～8月）	3期（9月～12月）	4期（1月～3月）
ねらい・内容	<p><b>養護・教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）</b></p>	<p>○新しい環境や保育者に少しずつ慣れ、安心して過ごせるようにする。</p> <p>○自分の好きな玩具や遊びを見つけて、保育者や友達と一緒に遊びを楽しむ。</p> <p>○保育者に手伝ってもらいながら、衣服の着脱を自分でしようとする。</p> <p>○保育者の援助を受け、少しずつ意欲的に食べようとする。</p> <p>○スプーン・フォークを使って、自分で食べる楽しさを知る。</p> <p>○食前、トイレ後の手洗いや消毒を習慣付ける。</p> <p>○尿意や便意を感じて、保育者に知らせ、トイレで排泄しようとする。</p> <p>○好きな固定遊具や運動遊具を見つけ、身体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>○玩具や生活用具の名称、使い方に興味を持ち、言葉で表したり、用途を知ったりする。</p> <p>○生活の中で簡単な挨拶や返事をしたり、生活に必要な簡単な言葉を使ったりする。</p> <p>○季節のうたを楽しむ。</p> <p>○使った玩具を片付けようとする。</p> <p>○保育者の声掛けを聞いて、持ち物を直しに行ったり、取ってきたりする。</p> <p>○保育者や友達と遊びを通して関わりを持つ。</p>	<p>○生活の流れが分かり、保育者に見守られながら行動する。</p> <p>○保育者に見守られながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。</p> <p>○保育者に見守られながら、食事前・手洗い後に手を拭いたり、消毒をしたりする。</p> <p>○食事の量を加減してもらい、よく噛んで食べ、完食する喜びを知る。</p> <p>○苦手な物を少しずつ自分で食べようとする。</p> <p>○尿意や便意を感じてトイレに行き、紙の使い方を知る。</p> <p>○パンツが濡れたことを知らせたり、自分からトイレに行き、排泄しようとしたりする。</p> <p>○してほしいことや、自分の思いを言葉で伝えようとする。</p> <p>○簡単な衣服の着脱を一人でしようとする。</p> <p>○友達の名前に興味を持ち、名前を呼び合い、一緒に遊ぶ。</p> <p>○身近な玩具や生活用具の正しい使い方を理解し、使用する。</p> <p>○好きな絵本や紙芝居を読んでもらい、気に入った場面を真似たり、動作でごっこ遊びをしたりする。</p> <p>○クレパスやマーカー、絵の具でなぐり描きをする。</p> <p>○草花や野菜、生物を育てるといった直接体験を通して生き物への興味を持つ。</p> <p>○身近な虫や草花に興味を持ったり、触れたりする。</p>	<p>○登園時の荷物整理など簡単な身の回りのことを自分でしようとする。</p> <p>○トイレに行き、排泄の後始末を自分でしようとする。</p> <p>○ズボンとパンツを膝まで下ろし、濡らさないように排泄をしようとする。</p> <p>○保育者と一緒に衣服の着脱や片付けを最後までする。</p> <p>○友達との会話を楽しむ。</p> <p>○切ったり、貼ったりして、好きなものを作り、作ったもので遊ぶことを楽しむ。</p> <p>○好きな絵本の真似をしたり、音楽に合わせて身体を動かしたりして、自由に表現することを楽しむ。</p> <p>○箸に興味を持ち、箸を使って自分で食べようとする。</p> <p>○前開きの着脱の仕方を知り、自分でしてみようと挑戦する。</p> <p>○戸外から帰ってきたら手洗い・消毒をしようとする。</p> <p>○使用する運動用具などの種類が広がり、いろいろ組み合わせを試して遊ぶ。</p> <p>○集団の生活に必要な簡単な決まりが分かり、待ったり、譲ったりする。</p> <p>○いろいろな材料に触れ、できたもので、見立て遊びをする。</p> <p>○落ち葉や木の実など身近な自然物を見つけ、形や大小に関心を持つ。</p> <p>○赤、青、黄など、色の名前を知り、遊具や服やボールなどの色の違いに興味・関心を持つ。</p> <p>○園内にある果樹の成長に興味を持ち収穫する喜びを味わう。</p>	<p>○簡単な身の回りのことを自ら行い、できたことを喜ぶ。</p> <p>○排泄を最初から最後まで自分でしようとする。</p> <p>○戸外で保育者や友達と一緒に身体を動かして遊ぶ。</p> <p>○屋上や散歩に出掛け、伸び伸びと身体を動かして遊ぶ。</p> <p>○戸外で全身を使って遊んだりする。</p> <p>○生活やごっこ遊びの中で言葉のやりとりを保育者や友達と一緒に楽しむ。</p> <p>○見たことや感じたことを、言葉で伝え、やりとりを楽しむ。</p> <p>○ごっこ遊びや簡単なルールのある遊びを保育者や友達と一緒に楽しむ。</p> <p>○草花や虫に興味を持ち、見たり触れたりする。</p> <p>○好きな絵本の中に出てくる役になりきることを楽しむ。</p> <p>○指先を使った遊びを楽しむ。</p> <p>○生活に必要な言葉を理解できるようになる。</p> <p>○天候の良い日には戸外に出て、異年齢児との交流機会を持つ。</p> <p>○3歳児への進級に期待を持つ。</p>
	<p><b>保育者の関わりおよび環境構成</b></p>	<p>○一人一人の子どもの気持ちを大切に受け止め、安心して過ごせるよう子どもとの信頼関係を築く。</p> <p>○食事・排泄・睡眠などが安心してできるよう、ゆったりとした雰囲気作りを心掛ける。</p> <p>○食器を身体の前に持ってきて食べられるよう、発達に見合った食具を準備する。</p> <p>○子どもの話を優しく受け止め、話したいと思えるような環境づくりに配慮する。</p> <p>○保育者は年間を通して、丁寧な言葉を心掛け、子ども達の正しい美しい言葉の発達を促す。</p> <p>○コロナウイルス感染予防対策の為、保育室の気温、湿度管理や玩具の消毒をこまめに行う。</p>	<p>○保育者が仲立ちとなり、気持ちを汲み取って言葉で伝えたり見守ったりして、相手の気持ちに気付けるようにする。</p> <p>○自分でしようとする気持ちやできたときなどは、気持ちを認め、自信や達成感を持たせるような言葉掛けをする。</p> <p>○食器に手を添えて食べられるよう、発達に合った食具を準備する。</p> <p>○製作や絵画などの活動では、少人数で活動するなど、伸び伸びと取り組めるようにする。</p> <p>○子どもが自ら自然に関わろうとする気持ちを大切にすると共に、保育者自身も親しみや愛情を持ってかかわる。</p>	<p>○子ども同士の関わりや言葉のやり取りが増え、トラブルが出てくるが、仲立ちとなって必要な言葉の使い方を繰り返し伝える。</p> <p>○体調や気候に合わせて衣服の調整をしながら、健康に過ごせるようにする。</p> <p>○子どもが身の回りをきれいにすることを覚えるよう、衛生面や安全性に留意する。</p> <p>○スプーンが正しく使えるようになったら、箸に移行する。</p> <p>○秋の自然物を使った遊びや製作などを楽しめるよう、素材を準備する。</p> <p>○自我の育ちを見守り、子どもの気持ちを受け止め、尊重しながらも必要に応じて援助していく。</p>	<p>○身の回りのことが出来た際には、自信に繋がるよう認めたり褒めたりする。</p> <p>○身近な自然に興味や関心を示す子どもの言葉・身振り・気持ち・表情などを受け止め、丁寧に答えたり共感したりする。</p> <p>○自分でしようとする気持ちが育つように一人一人の発達を丁寧に捉え、必要に応じて援助する。</p> <p>○生活の流れや食事・排泄などの仕方を変えずに繰り返し知らせ、生活習慣が身に付くようにする。</p>
<p><b>家庭との連携</b></p>	<p>・園と家庭の連携を密に図り、園での子どもの様子や家庭での様子を共有しながら信頼関係を築いていく。</p> <p>・荷物の用意の仕方や園のきまり、ルールなどを分かり易く伝え、理解、協力してもらう。</p> <p>・食事の量や排泄についてこまめに聞き取り、子ども自身の発達と成長につなげていく。</p> <p>・連絡ノートや園だより等で、園での活動内容、連絡事項、クラスの様子を積極的に知らせていく。</p>	<p>・夏季保育期間の出席を確認し、通園状況を把握する。</p> <p>・水遊びが始まるので、子どもの健康状態を把握する。</p> <p>・汗をかきやすい季節となる為、衣服を多めに用意してもらい、清潔を保つ。</p> <p>・夏に多い感染症、脱水症状についても情報を共有しながら、早期発見、早期治療に努めてもらう。</p>	<p>・年末年始の出席を確認し、通園状況を把握する。</p> <p>・風邪やインフルエンザなど感染症の流行しやすい時期になるため、体調の変化に気を付け、健康状態や生活リズムについてもこまめに連絡を取り合う。</p> <p>・寒暖の差が大きいため、調節や着脱しやすい衣服を用意してもらう。</p>	<p>・春季保育の出席を確認し、通園状況を把握する。</p> <p>・3歳児クラスへの進級にあたり、必要な内容（物）を知らせていく。</p> <p>・個々の成長した点や課題点について伝え、無理なく進級できるようにする。</p> <p>・冬休み開けも安定して過ごせるよう、家庭での様子を窺い、生活リズムを整えていく。</p> <p>・日々の発育を共に喜ぶ。</p>	